

令和5年度 第2回 福知山市環境審議会 会議録

日時：令和5年10月19日（木）13時30分～16時10分

場所：福知山市環境パーク 2階 会議室

（委員）※敬称略

三木 栄徳	京都府中丹西保健所 技術次長
入海 健一	一般社団法人 福知山医師会 理事
中尾 誠二	福知山公立大学 教授
的場 信敬	龍谷大学 教授
柳井津 佑健	福知山商工会議所 専務理事
衣川 浩行	福知山市商工会 事務局長
嵯峨根 正和	一般社団法人 長田野工業センター 専務理事
足立 聖忠	一般社団法人 福知山青年会議所 理事長
松原 斎樹	京都府地球温暖化防止活動推進センター センター長
平田 浩之	市民公募委員
森田 雅子	市民公募委員
菰田 伶菜	市民公募委員

（事務局）

西畑 信寿	産業政策部長
山田 信義	産業政策部次長兼エネルギー・環境戦略課長
足立 訓章	産業政策部エネルギー・環境戦略課 企画係長
梅田 健太	産業政策部エネルギー・環境戦略課 企画係 主事

（担当課）

伊藤 信夫	市民総務部長
四方 幸生	市民総務部生活環境課長
浪江 一平	市民総務部生活環境課 環境・廃棄物対策係 専門官
辻原 健太郎	市民総務部生活環境課 環境・廃棄物対策係 主査

（オブザーバー）

京都府総合政策環境部脱炭素社会推進課

◇ 次 第 ◇

1 開会のあいさつ

2 協議事項

脱炭素化促進事業における「促進区域」の設定等について

3 報告事項

福知山市埋立処分場延命化実施計画中間評価（案）について

4 閉会

議 事 概 要

○開 会

挨 拶 福知山市 産業政策部長 西畑信寿

○議 事

協議事項 脱炭素化促進事業における「促進区域」の設定等について

1 エネルギー・環境戦略課より資料1、資料2、資料3、資料4にて説明

2 委員からの意見

・前回は資料1のタイプのところで、夜久野を選定するところがどうなのかという意見が出たと思うが、特に尖った要素の記載が無い。市民出資型の太陽光発電にしてもその規模感など、人口が少ない夜久野だけにすることは、どのようにお金が回り、暮らしが豊かになるのか、その効果に疑問がある。

・資料1のメリットデメリットが書かれた部分は、そのほかのタイプの欄とも同じようなことが書かれているため分かりづらい。

・CO2の排出量が多いところを促進区域にすることで、効果が大きく、脱炭素を進める先進地になるなどのメリットがあって、その次に補助金もあるという整理が良いと思う。

・すべて太陽光のみのポテンシャルだが、太陽光に限らず脱炭素であればどのような技術でもいいと思う。工業団地などはバイオマスのポテンシャルも必要になってこようかと思う。

・環境省サイトのREPOS（リーポス）のポテンシャル数値は、啓発的な意味で市民に広報するのがよいのではないか。

・課題やポテンシャルは福知山市特有の数値があると思う。ブランディングのことも含めて福知山らしさを出すために、他地域データと比較すべき。

・域外へのエネルギー購入費の流出を防ぎ、域内循環につなげようというメッセージが弱い。約123億円のエネルギー代金が市域外に流出しているという試算が出ていたはずで、それをとどめるために市内で発電しようという思いを打ち出すほうがよい。

・広報の仕方と福知山らしい取組が今後の事業者へのヒアリングの段階からあった方が興味をもってもらえると思う。

・促進区域になることで規制緩和ができるのか、国や市の補助金が無い中でも、財政面以外で他に支援出来ることはないかを考えていくことも必要。

・脱炭素化という取組がポジティブに捉えきれていない。脱炭素化や促進区域の設定で経済や生活がポジティブになっていくことを、市のスタンスを入れながら打ち出すとよい。

・公共施設も一緒に促進区域にする方がよいと思う。ヨーロッパではまずは公共が実行し、

市民や事業者の良い事例として示していくのが普通である。

・オンサイトPPAやお城への再エネなど、福知山市は先進的なことをされていることを打ち出すべきだと思う。

・長田野工業団地は協定書により、法律の数値よりも厳しい規制がかかっている。例えば促進区域に指定されるとバイオマス燃料に限って、協定書の数値は免除できるとかがメリットとしてあれば、非常にバイオマスは普及できると思う。

・協定の数値を緩めたり、免除したりする代わりに植樹をすとか、代替措置が納得のいくものであればよいと思う。

・資料3の運輸について、カーシェアなどは課題が多いと聞く。事業者へのヒアリングは丁寧にした方がよい。

・市役所等の公共施設を促進区域とすることは、市民へのアピールにもなると思う。

報告事項 福知山市埋立処分場延命化実施計画中間評価（案）について

1 生活環境課より資料5、三木委員より資料6について説明

2 委員からの意見

・ごみの減量化に向けて、庭で出た剪定枝など有機物系のごみについては、コンポストなどを活用して土に還すことが出来ればよいと思う。

・市役所の庁内等、各所が連携しながらごみの減量化や脱炭素化の取組をすることで、良い相乗効果が出てくると思う。

・中小企業等にとって受け入れ停止を一部見直していただいたことは非常にありがたいことであると思う。

・福知山市環境パークは市街地からも比較的近く、立地もよいことから事業所だけでなく市民の方も恩恵を受けていると思う。少しでも長く使えるよう事業所も協力をしていく必要があると思う。

・市が広報しているごみの減量化、資源化について、協力して取り組んでいければと思う。

・次回の計画見直しの際には、規制をかけるのではなく、新たな延命化が図れるよう市と情報交換をしていければと思う。

・脱炭素と関連することで言えば、サーキュラーエコノミーにつながっていくことがとても望ましい。

・削減や節約はネガティブな部分が多い。例えば、イベントでリサイクルに関するブースを設置して、子どもたち等がわくわくするような機会の提供を検討してみてもどうか。

・市内環境団体がされている生ごみ堆肥化の講習会で、ベランダ等の小規模でも実施できる方法を教えてもらえると、市民が環境を考えることに繋がっていくと思う。

- ・学生や高校生など、これから社会へ出ていく方にごみの減量化等を学ぶ機会を提供するのも効果があると思う。
- ・京都府のゼロエミッションアドバイザーが学生に付いてワークショップを行うなども効果的だと感じる。
- ・ごみの減量化や脱炭素化という問題は別々ではなく繋がっていることが多い。一つのイベントで複数のメッセージを届けるというのも可能だと思う。
- ・埋立処分場が無い自治体もあるなか、大きな財産である埋立処分場の延命化に向けてよく資料をまとめていただいたと思う。

○閉 会

以上